

三田村 信 山岳図絵展

まこと
～岩手山・八幡平周辺の山々～

2023・11/2 (木)～2024・2/25 (日)

岩手山麓で暮らし、長らく「八幡平散策ガイド」を務めてきた故・三田村信さん。独自の図絵を製作して参加者に配り、案内してこられました。図絵は、鳥観図的に地形の特徴が描かれ、季節の花々や名所などが細やかに描き込まれ、その山の概要が一目でわかる素晴らしいものでした。これまで一般には知られることがなかった三田村さんの残された図絵の中から、岩手山・八幡平周辺の山々を選び、展示紹介いたします。山岳図絵から浮かび上がる故郷の自然をお楽しみください。



【三田村信プロフィール】八幡平自然散策ガイド。自然観察指導員。昭和9年(1934年)旧・西根町田頭生まれ。盛岡中学校(現・盛岡第一高等学校)卒業、長らく特別支援学級の教諭を務めた。退職してからは、八幡平をはじめ東北各地の自然ガイドとして活躍した。平成30年(2018年)没。享年84。

県民の森 イベント ご予約・問い合わせ 森林ふれあい学習館 ☎0195-78-2092

正月飾りをつくろう

門松教室

2023年12月24日(日)

9:00～12:00

定員:15名 参加費:5,000円

恒例の年末人気イベントです。高さ90cm以上ある立派な門松をつくります。初めての方でも、丁寧につくり方をお教えますので安心。年の瀬の家族行事にされている方も多いです。手作りの門松で新年を迎えませんか？



七滝氷瀑スノーシューツアー

2024年1月28日(日)

8:30～13:00

定員:15名 参加費:2,000円(温泉券付)

※スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

厳冬期、迫力ある氷瀑となる七滝。動物の足跡や木々の冬芽などを観察しながら七滝を目指します。



【プライベートガイドも承ります】

プライベートでゆっくりと、岩手山麓の自然を心ゆくまで満喫できます。イベント以外の日、1週間までの予約制。ご家族やグループの利用など、人数が揃えばお得です。団体様もお問い合わせください。スノーシューレンタル別途1,000円(ダブルストック付)

七滝氷瀑・巨木スノースシューツアー 約4～5時間 15,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

七滝氷瀑スノーシューツアー 約3～4時間 10,000円(こちらの料金で最大5名までご案内)

木材工芸センター「木工教室」 ご予約・問い合わせ 木材工芸センター☎0195-78-4115

干支の置物(辰) 2023年11月26日(日) 3,000円

踏み台 2024年1月20日(土) 5,000円

場所:木材工芸センター
時間:9:00～15:30
定員:5名
着色料:別途1,000円
持ち物:昼食・ゴム手袋等

岩手県森林公園

県民の森だより

2023.
11
Vol.214

発行 岩手県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



2022年11月13日 みんなの広場のシラカンバ並木

11月。晩秋と初冬が味わえる季節。最後に色付くカラマツやメタセコイア、林床の稚樹が、落葉した木々のなかで最後の輝きを見せてくれます。稜線はいち早く雪化粧をして、山麓にも雪が舞う日が出てきます。吐く息が白くなり、今年もまた冬が訪れようとしています。

岩手県民の森 管理事務所

※イベント等の最新情報はHP等でご確認ください。
※県民の森園内での植物採取は森林法により禁じられています。

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間:9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)
@forest_iwate



秋の終わり。

11月。紅葉の最盛期は過ぎましたが、まだまだ遅くに色付く紅葉や木の実を味わえます。落葉が進み、明るくなった森のなかの彩りは、私たちに鮮烈な印象を残してくれます。



【みんなの広場から八幡平方面を望む】2022/11/9
岩手山麓はカラマツの植林が多く、晩秋に黄金色に染まり、最後の彩りを見せてくれます。



【市町村の森のイチョウ】2022/11/14
イチョウは落葉したあとも、黄色の絨毯となって美しく地面を彩り私たちを楽しませてくれます。



【ヤマツツシ (ツツジ科)】2022/11/2
ツツジのなかではいちばん遅く紅葉します。夏に出来た小さな夏葉は落葉せず、枝に残って冬芽を守りながら、冬を越します。



【ユリノキ (モクレン科)】2022/11/9
レモンイエローに色付きます。奇妙な形の大きな葉っぱは半纏に似ているので別名「ハンテンボク」と呼ばれています。



【メタセコイア】2022/11/9
黄色に色付いた葉は、陽が差すと、黄金色に輝き、とても美しいです。紅葉の時期は青空が似合います。



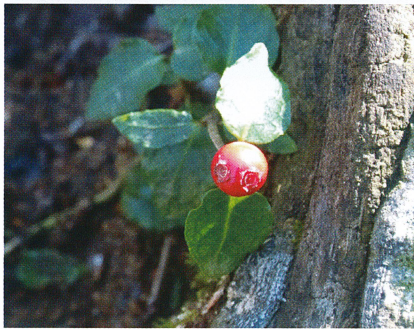
【コシアブラ (ウコギ科)】2022/11/11
「山菜の女王」の実は、やってきた冬鳥たちのご馳走になります。



【ニシギギ (ニシギギ科)】2022/11/27
美しい紅葉で有名ですが、落葉後に残る紅色の実も鮮やかです。



【マユミ (ニシギギ科)】2022/11/24
熟すとピンクの皮が割れて、中から朱色の種が出てきます。



【ツルアリドオシ (アカネ科)】2022/11/11
果実の表面にある2つの目のようなものは、夏に咲いた小さな2個の白い花の萼の跡。実は2つの子房が合着して膨らんだものです。



【ウリハダカエデ (ムクロジ科)】2022/11/15
カエデの仲間特有のプロペラのような実が房状にぶら下がっています。1個の羽は2つに分離して風に乗って飛んでいきます。



【ヒレンジャク】2022/11/19
冬鳥たちが次々とやってくるのもこの頃。赤い尾っぽのヒレンジャクの群れが到着すると、いよいよ冬がやってきます。

冬のはじまり。

山の稜線から冬はやってきます。運が良ければ、紅葉と雪景色、秋と冬の境目を見られます。



カンザン(運味きの嶽)の紅葉と雪化粧した下倉スキー場 2022/11/4



カラマツの黄葉と黒倉山 2022/11/18

県民の森の植物 68 アカシデ (カバノキ科クマシデ属)

「森の大橋」から望む松川溪谷の紅葉の主要な樹種のひとつ。紅葉の時期は長く、8月頃から部分的に色付きはじめ、11月上旬まで楽しめます。黄、赤、橙と様々な色合いに色付き、日々変化していく様子は、非常に美しいです。

名の由来は、冬芽や花、紅葉が赤みを帯びる傾向が強く、長く垂れ下がった雄花の様子を神社にあるしめ縄の「紙垂」に見立てたことから。花は、遠くから見ると赤い霞のように見えて情緒があります。

秋に熟す果実もまた「紙垂」に似ており、小さな種に大きな苞がついていて、苞は種を風に乗せて遠くまで運ぶ役割を担っています。若い苞は緑色、秋になって茶色になり乾燥して軽くなったらスタンバイです。

整った樹形の木で、枝ぶりも美しいので、庭木や公園樹として植栽されたり、盆栽として使われたりしています。冬に出会った霧水で凍りついたアカシデの枝は、まるで精巧なガラス細工のような自然の芸術でした。



アカシデの花 1/5/7



雌花 5/1



雄花 4/30



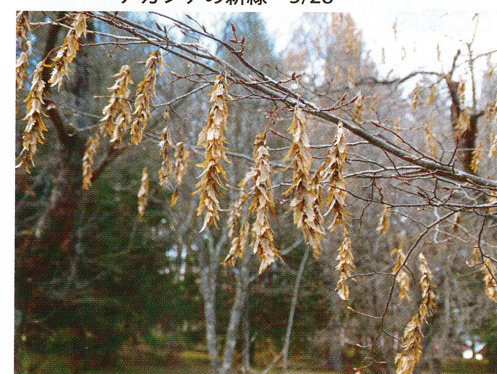
アカシデの新緑 5/28



紅葉 10/16



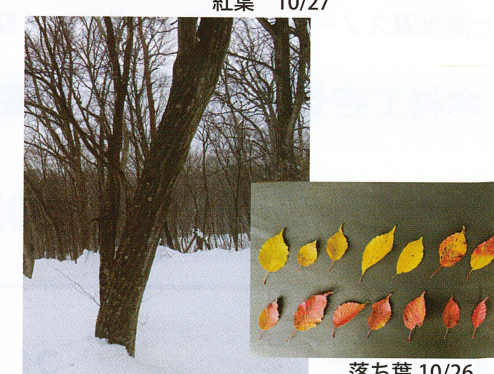
紅葉 10/27



アカシデの果序 11/15



霧水で凍りついた枝 3/14



冬のアカシデ 3/11



落ち葉 10/26